

第1講座 動詞

P.3 〈解答例〉

- [1] (1) are (2) are (3) is (4) were
(5) was (6) Were (7) Was (8) is
(9) was (10) were
- [2] (1) washes (2) took (3) studies
(4) came (5) has (6) went (7) like
(8) does
- [3] (1) has (2) Is there, there is
(3) wrote, last Friday (4) didn't know
(5) Does, play, his
- [4] (1) got (2) at (3) played (4) tennis
(5) studied (6) for (7) two
- [5] (1) Is this your desk ? (2) His brother
sometimes plays baseball with his friends in the
park. (3) I had a very good time in Kyoto.
(4) I came to Kumamoto when I was twelve
[When I was twelve, I came to Kumamoto].
(5) His sister doesn't go to school on Saturday.

〈解説〉

- [1] (4) when they were young 「彼らが若かったとき」とあるので過去形にする。(8) and I often go there 「そして私はよくそこへ行く」とあるので現在形にする。(9) rain は「数えられない名詞」なので、複数形はない。よって常に単数扱い。(10) in those days で「その当時」。過去を表す語句。
- [2] (4) I was watching TV 「私はテレビを見ていた」とあるので過去形にする。(5) and the dog is called Taro 「そしてその犬はタロウと呼ばれている」とあるので現在形にする。
(6) 文末に yesterday 「きのうは」とあるので過去形にする。
- [3] (1) 「There is[are] + A + in + B.」は「B + has + A.」で書きかえられる。(4) knew は know の過去形。(5) 主語が「3人称・単数」になるので Does に。
- [4] (1), (3), (5) すべて過去形の疑問文への返答なので、過去形にする。(2) 「～時に」は「at + 時刻」。(6) for ～で「～の間」。
- [5] (2) 「ときどき」の意味の sometimes は、「be 動詞のあと、一般動詞の前」に入る。(3) 「楽しいときを過ごす」は have a good time。

第2講座 進行形・未来の文

P.5 〈解答例〉

- ① (1) is studying (2) are looking for
(3) visited, were singing (4) Was, writing,
she was (5) They're going to, this
(6) will come, soon (7) won't help
(8) Are, going, be, tomorrow, I'm not
(9) Will, rain next, it will (10) Will you,
another, thank you
- ② (1) was running (2) was using (3) What
was, looking (4) will be, tomorrow
(5) We're going to
- ③ (1) When I came home, my mother was cooking
[My mother was cooking when I came home].
(2) What was Tom doing then [at that time] ?
He was listening to music in his [the] room.
(3) He is going to [will] stay there for a year.
(4) What time will the bus arrive here [What
time is the bus going to arrive here] ?
(5) Will [Would, Could, Can] you open the
window(s) ? — Sure [O.K, All right].

〈解説〉

- ① (2) 「～を探す」は look for ～。(9) 「雨が降
る」は rain, 天気を表す文なので, 主語は it。
(10) 「もう一杯の～」は another cup of ～。「い
いえ, 結構です」と断る場合, No, thank you.
- ② (2) 「誰がその車を使っていましたか」という
文。この疑問文の主語は who で, who は「3
人称・単数」の主語だから, be 動詞は was。
- ③ (1) 「A のとき, B」は「When + A, B.」か「B
+ when + A.」で表す。「家に帰る」は come
home。(2) 過去進行形の疑問文には, 同じく
過去進行形で答える。(5) Will you ～? に
は, ①依頼「～してくれませんか」, ②勧誘
「～しませんか」, ③未来「あなたは～するつ
もりですか」の意味がある。ここは①の意味で
使っている。

第3講座 助動詞

P.7 〈解答例〉

- [1] (1) can play (2) will be (3) can[may] use
(4) may be (5) Must, stay, you don't have to
(6) has to study (7) must not swim
(8) must be (9) should have[eat]
(10) I'd like to ask
- [2] (1) Will[Would, Could, Can] you
(2) Shall we (3) is able to
(4) will have to visit (5) could run
- [3] (1) What time shall we meet tomorrow?
(2) Shall I carry your bag? — Yes, please.
- [4] (1) Will[Would, Could, Can] you close the door?
(2) You should go out at once.
(3) Can[May] I use this camera?

〈解説〉

- [1] (2) 「晴れる」は be fine で表す。助動詞 will のあとなので、be 動詞は原形のまま。(4) 「いそがしい」は be busy で表す。助動詞 may のあとなので、原形のまま。(5) 「～しなくてもよい」は don't have to ～。must not は「～してはいけない」の意味になるので、Must I ～? への返答には使えない。(10) 「(人)に質問をする」は「ask + 人 + a question」。
- [2] (1) Please と Will you の書きかえ。(2) Let's と Shall we の書きかえ。(3) can と be able to の書きかえ。(4) will や must のような助動詞を2つ並べて使うことはできないので、「～しなければならないでしょう」は will have to ～で表す。(5) 「～することができた」は「could + 動詞の原形」で表す。
- [3] (1) 「(いっしょに)～しましょうか」は Shall we ～? ただし、ここでは「何時に」とあるので shall we の前に What time を置く。(2) 「～を運ぶ」は carry。「～しましょうか」の申し出に対して「はい、お願いします」と答える場合は、Yes, please.
- [4] (1) 「～していませんか」は Will[Would, Could, Can] you ～? (2) 「～すべき」は Should ～。(3) 「～してもいいですか」と許可を求める表現は Can[May] I ～? can, may ともに「～してもよい」の意味がある。

第4講座 現在完了

P.9 〈解答例〉

- ① (1) saw (2) has lived (3) did, do
(4) has been
- ② (1) have stayed[been], for (2) haven't seen
[met], since (3) How long have, been, For
(4) has been, twice (5) have never seen
(6) Have, ever seen, have not[never have]
(7) How often have, visited, Three times
(8) has already cleaned (9) hasn't had
[eaten], yet (10) Have, finished[done], yet I
haven't[not yet]
- ③ (1) has been, since (2) has gone (3) have
been (4) have lost (5) has lived, for
- ④ (1) Where have you been? (2) I have known
him for two years. (3) 私はちょうど図書館に
行ってきたところです。(4) 私の母は買い物
に出かけてしまった。

〈解説〉

- ① (1) yesterday があるので過去形にする。
(3) When の文で現在完了は使えない。
- ② (3) when の文で現在完了は使えない。「あなたたちはどのくらいの間友だちなのですか」と考える。また答えの方も since ten years ago ではなく、「10年間」for ten years と答える。
(4) 「～へ行ったことがある」という経験は、have been to ～で表す。have gone to ～は「～へ行ってしまった（今はいない）」という結果の意味になるので注意。(5) 「一度も～したことがない」は「have[has] never + 過去分詞」で表す。(6) 「Have you ever + 過去分詞～？」の疑問文へは、No, I never have. 「いいえ、一度もありません」で答えることもできる。この場合、never の位置に注意が必要。(7) 「何回～したことがありますか」は、「How often[How many times] have you + 過去分詞～？」で尋ねる。(8) 「もう[すでに]～してしまった」は「have already + 過去分詞」で表す。ただし、already は肯定文でしか使えないので注意。
(9) 否定文で「まだ（～していない）」という場合、文末に yet。(10) 疑問文で「もう（～しましたか）」という場合、文末に yet。
- ③ (1) 「私の父はこの前の月曜日からずっと病気です」という継続を表す文になる。get sick は「病気になる」、be sick は「病気だ」の意味。「(ずっと)～だ」のような継続の意味を表す文なので、get sick は使えない。(2) 「私たちの先生は東京に行ってしまった（今ここにいない）」という結果を表す文になる。have[has] gone to ～で「～へ行ってしまった（今ここにいない）」の意味。(3) 「彼らはロンドンに行ったことがある」という経験を表す文になる。

have been to ～で「～へ行ったことがある」の意味。(4) 「私はえんぴつをなくしてしまった（今もないまま）」という結果を表す文になる。
(5) 「彼はここに3年間（ずっと）住んでいます」という継続を表す文になる。

- ④ (1) have been to ～は「～へ行って来たところだ」の意味もある。where は「どこへ、どこに」の意味なので、to は不要。(2) 「私は彼を（この）2年間ずっと知っている」と考える。
(3) この have been to ～は、(1)と同じく「～へ行って来たところだ」の意味。ふつうこの意味で使われる場合、just 「ちょうど」といっしょに使われていることが多い。一方「～へ行ったことがある」の場合、ever, never, before などの経験の意味を表す副詞といっしょに使われることが多い。(4) go shopping で「買い物に行く」の意味。

第5講座 受動態

P.11 〈解答例〉

- ① (1) The room is cleaned by Mary every day.
(2) This story was written by Taro.
(3) I wasn't helped by Nancy. (4) Is English spoken here? (5) What language is spoken in your country? (6) Tom took these pictures.
(7) We study English at our school. (8) He doesn't wash the car. (9) Did Mr. Smith invite many people?
- ② (1) ① are taught, by / ② is taught, by
(2) is called Mike by
- ③ (1) was built in (2) When was, opened
(3) What is, called (4) were surprised at
(5) is covered with (6) are made of (7) is made from
- ④ (1) helping (2) is, making (3) do, teach
(4) are, spoken
- ⑤ (1) The song is loved by young people.
(2) Is your brother interested in music?

〈解説〉

- ① (4) by you は「一般の人」を指しているのを、省略する。(7) our school で勉強するのは「私たち」なので、主語は we にする。
- ② (1) 「動詞＋人＋もの」の第4文型は、動詞によって2種類の受動態を作ることができる場合がある。人を主語にした場合、「人＋be 動詞＋過去分詞＋もの＋by ～.」, ものを主語にした場合、「もの＋be 動詞＋過去分詞＋to[for]＋人＋by ～.」の語順になる。(2) 第5文型「call＋目的語(O)＋補語(C)」は、Oを主語にして受動態を作ることができる。その場合「O＋be 動詞＋過去分詞＋C＋by ～.」の語順になる。
- ③ (1) 「～年に」は in ～。(4) 「～に驚く」は be surprised at ～。(5) 「～で覆われている」は be covered with ～。(6), (7) 「～でできている」は be made of ～か be made from ～。見ただけでも材料が判断できるような場合が、be made of ～。
- ④ be 動詞があった場合、一般動詞は ing 形か過去分詞形にする。どちらにするかは、文全体の訳から判断するとよい。「be 動詞＋～ing 形」なら進行形で「…は～している[た]」, 「be 動詞＋過去分詞形」なら受動態で「…は～される[た]」となる。
- ⑤ (2) 「～に興味がある」は be interested in ～。

第6講座 文型・命令文

P.13 〈解答例〉

- [1] (1) 私の兄[弟]は大阪に住んでいます。(2)彼女はとても幸せそうです。(3) 私たちは毎週土曜日にテニスをします。(4) 私のおじは私に新しい時計をくれました。(5) 彼らは自分たちの赤ちゃんをサトシと名づけました。
(6) お年寄りには親切に下さい。
- [2] (1) teaches us (2) to (3) for (4) make her (5) Open, please (6) Be quiet (7) Shall we take
- [3] (1) Will you lend me these books (2) Mr. Brown became a very famous doctor
(3) There are a lot of pictures on the wall
(4) My father calls me Ken (5) Please tell me something about your family (6) Be quiet in the library
- [4] (1) get well (2) took us to, yesterday
(3) Stop talking, listen to
- [5] (1) My uncle bought me a new bike[My uncle bought a new bike for me]. (2) Keep your room clean.

〈解説〉

- [1] (1) in Osaka は場所を表す語句で、修飾語。よって第1文型「S + V」の文。(2) happy は主語 she の様子を説明しているので、she = happy の関係が成り立っている。よって第2文型「S + V + C」の文。(3) every Saturday は時を表す語句なので、修飾語。tennis は「何をするのか」の「何を」を表す目的語。よって第3文型「S + V + O」の文。(4) 「give + 人 + もの」の語順になっている。よって第4文型「S + V + O + O」の文。(5) 「name + O + C」で「O を C と名づける」の意味。第5文型「S + V + O + C」の文。(6) 主語がなく、動詞の原形 (be 動詞の原形は be) で始まっているので、命令文。be kind to ~で「~に親切にする」の意味。
- [2] (1) 「田中先生は私たちに数学を教えてください」の意味。(2), (3) 第4文型の「人 + もの」の語順を入れかえる場合、「もの + to [for] + 人」というように間に to か for が入る。ほとんどの動詞は to で、buy や make の場合 for になる。(4) 「その知らせは彼女を幸せにしてくれるでしょう」の意味。「make + O + C」で「O を C にする」の意味。(5) noisy は「騒がしい」という形容詞。その対義語は quiet で「静かな」。
- (7) How about ~ ing で「~するのはどうですか」という提案の意味。内容によって Shall we ~? に書きかえられる。take a walk で「散歩する」の意味。

- [3] (1) 第4文型「lend + 人 + もの」の語順にする。
(2) 第2文型。(3) 第1文型。「壁に」は on the wall。(4) 第5文型。「call + O + C」で「O を C と呼ぶ」の意味。(5) 第4文型。「tell + 人 + もの」の語順にする。
- [4] (1) 第2文型。「元気になる、よくなる」は get well。(2) 第3文型。「take + 人 + to ~」で「人を~へ連れて行く」の意味。(3) stop ~ ing で「~するのをやめる」、listen to ~で「~を聞く」の意味。命令文なので、主語がなく、動詞の原形で始める。
- [5] (1) 第4文型「buy + 人 + もの」か、第3文型「buy + もの + for + 人」で書く。(2) 第5文型「keep + O + C」で「O を C にしておく、保つ」の意味。ここは命令文なので主語がなく、動詞の原形で始める。

第7講座 名詞・冠詞・代名詞

P.15 〈解答例〉

- [1] (1) pianos (2) cities (3) summer
(4) aunt
- [2] (1) have, children, son, daughters
(2) Sunday, the first (3) pieces, paper
(4) It is (5) of mine
- [3] (1) coffee (2) money (3) some
(4) school, bus (5) The, the (6) himself
(7) one (8) likes (9) the other (10) All
- [4] (1) it, mine (2) I, them (3) we are
(4) He went there
- [5] (1) We have four classes on Saturday(s).
(2) What are those men doing?

〈解説〉

- [1] (1) ふつう語尾がoの語はesがつくが, pianoやradioは例外的にsがつくだけ。(3) 季節を表す語は一文字目も小文字。
- [2] (1) childのような数えられる名詞が, anyのあとに来る場合は複数形に。(2) firstのような序数の前にはtheが必要。(3) 紙はa piece of ~で「1枚の～」と数える。前にtwoとあるのでpiecesに。Paperは数えられないのでpapersとはならない。(4) 天気・天候を表す文なので, 主語をitに。(5) a friend of mineで「私の友人の一人」。
- [3] (1) coffeeは数えられない名詞。(2) moneyは数えられない名詞。(3) milkは数えられない名詞。(4) go to schoolで「学校に勉強しに行く→通学する」の意味。「(乗り物)で」という場合も「by + 乗り物」で使い, 冠詞は不要。(5) sunのように「世の中に一つしかないもの」やeastのような「方向・方角」を指す語の前にはtheが必要。(6) say to -selfで「心の中で思う, ひとり言を言う」の意味。(7) 前に出た名詞そのものを指す場合がit。ここでは「辞書を持っていないので, 辞書を買うつもり」ということから, 前に出た辞書とあとの辞書は同じ物を指していない。よってoneが適当。(8) everyoneは「3人称・単数」扱い。(9) one ~, the other ...で「(二つある内の) 一つは～で, もう一つは…」という言い方。(10) all of ~で「～のすべて」の意味。allは複数扱いなので, あとに続く語も複数形になる。each of ~は「～の一人一人, ～のめいめい」の意味で, eachは単数扱いのため, あとに来る語も単数形になる。everyは形容詞なので, every of ~という言い方はできない。ここでのallとeachは代名詞。
- [4] 応答文では, 疑問文の主語を代名詞に置きかえるのが基本。(1) 主語this penを代名詞itに。(2) 主語youを代名詞Iに。また目的語Mr.

and Mrs. Brownをthemに。(3) このyouは, あとのstudentsから複数形の「あなたたちは」とわかるので, 代名詞weに置きかえる。

(4) 主語のyour fatherをheに。またto Tokyoもくり返しをさけるため, there「そこへ」に置きかえる。

- [5] (1) 「私たちは土曜日に授業を4つ持っている」と考える。(2) 複数の「男の人たち」なのでthatではなく, thoseを使う。主語が複数なので, be動詞はare。

第8講座 形容詞・副詞

P.17 〈解答例〉

- [1] (1) is ∧ kind (2) I ∧ go (3) father ∧ washes (4) English ∧ . (5) a ∧ good (6) father ∧ . (7) is ∧ taller (8) something ∧ to
- [2] (1) many (2) any (3) a few (4) much (5) any (6) many (7) early (8) few (9) little (10) either
- [3] (1) is, fast runner (2) good (3) a lot of (4) don't, any
- [4] (1) Did you go to bed late last night (2) She is a very kind girl (3) Few people knew his name (4) All the students in my class like soccer
- [5] (1) There is something white in the box. (2) She is often late for school.

〈解説〉

- [1] (1), (2), (3)頻度を表す語は「be 動詞のあと、一般動詞の前」に入る。(4) hard「一生懸命に(～する)」は、動詞を修飾する副詞。副詞は目的語があればそのあと。なければ動詞のすぐあとに入る。この文には目的語の English があるので、English のあと。(6) yesterday も副詞。このような時を表す語は、ふつう文末に置く。(7)「much + 比較級」で差を強調して「(…より)ずっと～だ」の意味。(8)「something + 形容詞 + 不定詞」の語順で、「何か…な～する(ための)もの」の意味。
- [2] (1) friend(s), (3) people, (6) class(es), (8) day(s)はすべて数えられる名詞。(2) money, (4) snow, (9) water は数えられない名詞。(5) sister(s)は数えられる名詞で、疑問文。(7) メアリーは彼女の母親と同じくらい早く起きる」の意味。「(時間が)早く」は early。fast は「(速度が)速く」の意味。(10)「～もまた(…ない)」のような否定文では、too や also でなく either を使う。また also は文末ではなく「be 動詞のあと、一般動詞の前」に置く。
- [3] (1) run と runner の書きかえ。(2) speak と speaker, well と good の書きかえ。(3) snow には「雪が降る」と「雪」の2つの意味がある。snow a lot は「たくさん雪が降る」で、a lot of snow は「たくさん雪」の意味。(4) no と not any ～の書きかえ。
- [4] (1)「遅く寝る」は go to bed late。(3)「few + 数えられる名詞」で「ほとんど～がない」の意味。(4)「私のクラスのすべての生徒は～」と考える。「すべての～」という場合、all the ～の語順。
- [5] (1)「何か～なもの」は「something + 形容詞」

で表す。ふつう形容詞は「a + 形容詞 + 名詞」のように、修飾する名詞の前に置くが、something や anything を修飾する場合は、うしろに置くので注意。(2) often のような頻度を表す語は、「be 動詞のあと、一般動詞の前」に入る。「～に遅れる」は be late for ～。

第9講座 比較

P.19 〈解答例〉

- ① (1) not as, as (2) much easier, one
(3) more beautiful (4) the earliest in
(5) more, than (6) years older than
(7) oranges better than
(8) one, most famous
- ② (1) hotter (2) more difficult
(3) most popular (4) nice (5) best
(6) taller (7) prettier (8) most interesting
- ③ (1) better than (2) younger than (3) more difficult than (4) higher, any other
(5) doesn't, as, as
- ④ (1) 彼女は実際よりもずっと若く見える。
(2) My brother is as tall as you. (3) Which season do you like better, spring or fall? — I like spring better. (4) This is one of the most beautiful mountains in Japan. (5) Who can swim faster, Tom or Masao? — Tom can.

〈解説〉

- ① (2) 「(…より) ずっと～だ」のように差を強調する場合は、「much + 比較級」で表す。(5) I have many books. 「私はたくさん本を持っている」を比較の文に書きかえたと考える。many は many – more – most と変化する。
(6) (2)の much と同じように、具体的にどの程度差があるのかを表す語句も比較級の前に置く。two years olderなら「2歳年上」、two years youngerなら「2歳若い」。(7) 「BよりAの方が好き」は「like + A + better than + B」で表す。(8) 「最も～な…のひとつ」は「one of the + 最上級 + 複数名詞」。
- ② (6) you と your father の2人を比較しているので、比較級に。(7) pretty は語尾が〈子音字 + y〉なので、y を i にかえて er に。
- ③ (1) 「私の兄は私よりも上手に泳げます」という文に。(2) 「コウジはジミーよりも若いです」という文に。(3) 「あの話はこの話より難しいです」という文に。(4) 「富士山は日本で他のどの山よりも高いです。」という文に。「比較級 + than any other + 単数名詞」で「他のどの…よりも～だ」の意味。(5) 「ジロウはアキオほど遅く学校へは行きません」という文に。
- ④ (1) really 「本当は、実際には」の意味。
(3) 「AとBではどちらの方が好きですか。— Aの方が好きです」は、「Which do you like better, A + or + B? — I like + A + better.」で表す。(4) 「最も～な中のひとつ」は「one of the + 最上級 + 複数名詞」で表す。(5) 「AとBではどちらの方が～ですか」と二つのものや人を比較する場合、比較級を用いる。比べるものが「もの」なら which で、「人」なら who で

尋ねる。Who が主語の疑問文で、Who can ～? で聞かれた場合、「主語 + can.」で答える。

第10講座 不定詞 I ・動名詞

P.21 〈解答例〉

- ① (1) tried to (2) is to help (3) came to, to study (4) glad to see[meet] (5) to learn, to speak (6) something cold to drink (7) to talk[speak] with[to] (8) enjoyed playing (9) It stopped raining (10) Thank you for inviting (11) interested in drawing[painting]
- ② (1) to visit (2) to hear (3) speaking (4) to study (5) to meet (6) working (7) eating
- ③ (1) There are a lot of[many] places to visit in Kumamoto. (2) My sister came to see me yesterday. (3) She has just finished writing a letter. (4) To eat[Eating] too much is not good.

〈解説〉

- ① (1) 「～しようとする」は try to ～。(4) 「～してうれしい」は be glad[happy] to ～。(6) 「何か…な～する(ための)もの」は「something + 形容詞 + 不定詞」で表す。(7) 「～と話す」は talk[speak] with ～。(8) 「～して楽しむ」は enjoy ～ ing。(9) 「～するのをやめる」は stop ～ ing。(10) 「～してくれてありがとう」は Thank you for ～ ing。(11) 「～することに興味がある」は be interested in ～ ing。
- ② (1) hope は目的語に不定詞しかとらない。(2) feel sad to ～で「～して悲しむ」。(3) be good at ～ ing で「～するのが得意[上手]だ」。(4) decide は目的語に不定詞しかとらない。(5) 不定詞の副詞的用法「おじに会うために」。(6) stop は目的語に動名詞しかとらない。(7) before ～ ing で「～する前に」。
- ③ (1) 「訪れるためのたくさん場所」と考える。不定詞の形容詞的用法で表せる。(2) 「私に会うために」は不定詞の副詞的用法で表せる。(3) finish ～ ing で「～し終える」の意味。ちょうど～したところだ」とあるので、現在完了形で表す。(4) 「(あまりに)～すぎる」は「too + 形容詞[副詞]」で表すので、「食べ過ぎ」を too eat とはできない。「あまりにもたくさん食べることはよくありません」と考える。この場合の「たくさん」は量を表しているの、much を使う。

第11講座 不定詞Ⅱ

P.23 〈解答例〉

- [1] (1) It's important for, to help (2) what to do
(3) them how to speak (4) asked him to
come (5) too busy to watch (6) enough to
swim
- [2] (1) It, to read (2) what to say (3) told me
to (4) too, to (5) too, for, to
- [3] (1) I asked her which book to read (2) I want
you to take pictures (3) She was kind enough
to help me
- [4] (1) It's a lot of fun to play tennis[To play
[Playing] tennis is a lot of fun]. (2) Please tell
me where to buy the book. (3) My doctor told
me to stay home for a week.

〈解説〉

- [1] (1) 「—にとって～することは…です」は It is
… for — to ～で表す。(2) 「何を～したらよ
いか」は what to ～。(3) 「～のしかた」は
how to ～。(4) 「人に～するように頼む」は
「ask + 人 + to ～」。(5) 「…すぎて～できな
い」は too … to ～。(6) 「～するのに十分に
…」は… enough to ～。
- [2] (1) To ～ is … と It is … to ～ の書きかえ。
(2) 「私は何をしたらよいかわからない」の意
味。(3) 「say to + 人, “命令文.”」と「tell +
人 + to ～」の書きかえ。(5) 「so… that + 主
語 + can't ～ .」と「too … for — to ～」の書き
かえ。
- [3] (1) 「which + 名詞 + to ～」で「どの…を～し
たらよいか」の意味。(2) 「want + 人 + to ～」
で「人に～してほしい」の意味。(3) kind
enough to ～で「親切にも～してくれる」の意
味。
- [4] (1) 「とても楽しい」は a lot of fun。fun は名詞
なので, very fun とは言わない。(2) 「tell +
人 + …」で「人に…を教える」の意味(第4文
型)。「どこで～したらよいか」は where to ～。
(3) 「tell + 人 + to ～」で「人に～するように
言う」の意味。

第12講座 分詞

P.25 〈解答例〉

- ① (1) 走っているライオン (2) ロイとテニスをしている少女 (3) そのこわれた自転車
(4) その国で話されている言葉 (5) おじさんにもらったすてきなカメラ (6) ベンチに座っているその男の人 (7) 日本製の自転車
(8) 犬と歩いているその男の人
- ② (1) written (2) cooking (3) living
(4) lost (5) sitting
- ③ (1) Is that crying baby (2) at the mountain covered with snow (3) living in that house is my aunt (4) the boy walking along the river
(5) the house built by Mr. Green
- ④ (1) Look at that crying girl. (2) The boy playing baseball over there is Mike.
(3) English is the language spoken all over the world. (4) Some of the children playing in the park are my friends. (5) This is the book written by my uncle.

〈解説〉

- ① (1) running が lion を修飾している。(2) playing tennis with Roy が girl を修飾している。
(3) broken が bike を修飾している。
(4) spoken in the country が language を修飾している。(5) given by his uncle が camera を修飾している。(6) sitting on the bench が man を修飾している。(7) made in Japan が bike を修飾している。(8) walking with a dog が man を修飾している。
- ② (1) 「英語で書かれている本」 (2) 「台所で料理をしている少女」 (3) 「ここに住んでいる人々」 (4) 「あなたのなくした時計」→「なくされた時計」 (5) 「あの木のそばに座っている老人」
- ③ (1) 「あの泣いている赤ちゃんはジロウの妹ですか」 (2) 「雪でおおわれた山を見てごらん」
(3) 「あの家に住んでいる女性は私のおばです」
(4) 「あなたは川沿いを歩いているその少年を知っていますか」 (5) 「これはグリーンさんに建てられた家です」
- ④ (1) crying が girl を修飾している。関係代名詞を使って、Look at that girl who[that] is crying. と書くこともできる。(2) playing baseball over there が boy を修飾している。関係代名詞を使って、The boy who[that] is playing baseball over there is Mike. と書くこともできる。(3) spoken all over the world が language を修飾している。関係代名詞を使って English is the language which[that] is spoken all over the world. と書くこともできる。(4) playing in the park が children を修飾している。「～の中

の何人か」は some of ～。関係代名詞を使って Some of the children who [that] are playing in the park are my friends. と書くこともできる。
(5) written by my uncle が book を修飾している。関係代名詞を使って This is a book which was written by my uncle. や、This is the book (which[that]) my uncle wrote. と書くこともできる。

第13講座 関係代名詞

P.27 〈解答例〉

- ① (1) 東京に住んでいる友だち (2) 青い目の人形 (3) みんなが好きな女の子
- ② (1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア
- ③ (1) who (2) which (3) that
- ④ (1) who[that] speaks (2) that are
(3) which[that] was made (4) my father gave
(5) which[that] you took (6) boy we saw[met]
- ⑤ (1) who[that] is (2) which[that] was (3) who[that] has (4) written by
- ⑥ (1) The man I want to see is Mr. Brown
(2) I have a sister who goes to college
(3) This is the most beautiful lake I've ever seen

〈解説〉

- ① (1) who lives in Tokyo が先行詞 friends を修飾している。(2) which has blue eyes が先行詞 doll を修飾している。(3) (that) everyone likes が先行詞 girl を修飾している。
- ② 関係代名詞は、修飾する先行詞のすぐあとに入れる。(1) 先行詞は man で、「テニスをしている男性は私のおじです」の意味。(2) 先行詞は city で、「ニューヨークは建物がたくさんある大都市です」の意味。(3) 先行詞は book で、「あれは彼が書いた本ですか」の意味。(4) 先行詞は girl で、「あなたが昨日会った女の子はジェーンです」の意味。
- ③ (1) 先行詞は「人」の girl。(2) 先行詞は「人以外」の dictionary。(3) 先行詞は「人」の boy。
- ④ (1) 主格の関係代名詞のあとの動詞は先行詞に一致する。先行詞 boy は「3人称・単数」なので speaks。(2) 主格の関係代名詞のあとの動詞は先行詞に一致する。先行詞 the boy and the dog は「複数」なので are。また先行詞が「人・人以外の両方」なので、関係代名詞は that を使う。(3) 「日本で作られた」なので was。(4) 先行詞 book のあとに関係代名詞 which [that] が省略されている。「父がくれた」なので gave。(5) 「あなたが撮った」なので took。(6) 先行詞 boy のあとに関係代名詞 that が省略されている。「私たちが昨日会った」なので saw か met。
- ⑤ (1) 先行詞 girl は「人」で「3人称・単数」。(2) 先行詞 book は「人以外」で「夏目漱石によって書かれた」なので was。(3) 先行詞 girl は「人」で「3人称・単数」。(4) 分詞を使った文への書きかえ。
- ⑥ (1) 先行詞 man を I want to see が修飾している。(2) 先行詞 sister を who goes to college が修飾している。(3) 先行詞 lake を I've ever

seen が修飾している。この文は I've never seen such a beautiful lake. 「私はそのような美しい湖を見たことがない」でほぼ同様の意味を表すことができる。

第14講座 いろいろな疑問文

P.29 〈解答例〉

- ① (1) How long, He stayed, for (2) Who goes, earliest, My mother does (3) Whose bike, It's Mike's (4) Why was, late, Because she got (5) Where did, I took them
- ② (1) doesn't he (2) isn't he (3) were they (4) did you
- ③ (1) where she lives (2) what time it is (3) how long he will stay (4) where, was (5) did she, Yes, did
- ④ (1) How many classes do you have on Monday (s)? (2) I know what time he will come. (3) Do you know how old she is ?

〈解説〉

- ① (1) 「どのくらいの(間)」と期間を尋ねる疑問詞は how long。for ～「～の間」を使って答える。他に疑問文の主語 Tom を代名詞 he に置きかえることと、過去形の疑問文なので stay を stayed にして答えることに注意。(2) 「誰が～しますか」という who が主語の疑問文。この場合「Who + 動詞～」の語順になるが、who は「3 人称・単数」扱いなので、goes となる。「Who + 一般動詞の現在形～」の疑問文へは「主語 + do[does].」で答える。(3) 「誰の…」は「whose + 名詞」で表す。疑問文の主語が this なので、it に置きかえて答える。(4) why 「なぜ」と理由や目的を尋ねられた場合、Because 「(なぜなら)～だから」や To ～「～するため」と答える。be late for ～で「～に遅れる」の意味。(5) 場所は where で尋ねる。疑問文の主語 you は I に、動詞 take は過去形 took に置きかえることと、くり返しをさけるため these pictures も them 「それらを」に置きかえる。
- ② (1), (2) 肯定文なので、否定形の付加疑問に。(3), (4) 否定文なので、肯定形の付加疑問に。
- ③ (1) 「彼女がどこに住んでいるのか」を間接疑問文で表す。間接疑問文の語順は〈疑問詞 + 主語 + 動詞～〉。主語が she なので lives となることに注意。(2) 「今何時か」を間接疑問文で表す。(3) 「彼がどのくらい日本に滞在するのか」を間接疑問文で表す。(4) 「図書館がどこにあるのか」を間接疑問文で表す。(5) 否定文なので、肯定形の付加疑問に。答えは「行きました」とあるので、yes になる。もし、「はい、行きませんでした」とあれば、no になる。日本語の「はい」と「いいえ」が英語の yes, no と一致しないので注意。
- ④ (1) 授業の数を尋ねている。数は「How many + 複数名詞」で表す。(2) 「彼が何時に来るのか」を間接疑問文で表す。(3) 「彼女が何歳か」

第15講座 接続詞・前置詞

P.31 〈解答例〉

- ① (1) イ (2) イ (3) イ (4) ア (5) ア
(6) イ
- ② (1) won't, if, rains (2) hope, will (3) said, wanted (4) Both, and, are, friends
(5) Walk, or (6) As soon as
- ③ (1) on (2) in (3) in (4) for (5) by
(6) since (7) at (8) for (9) by (10) of
- ④ (1) I was so busy that I couldn't go to the party
[I was very busy, so I couldn't go to the party/I
couldn't go to the party because I was very
busy/I was too busy to go to the party].
(2) Let's go home before it gets[becomes]
dark. (3) We go to school from Monday to
Friday. (4) I've wanted a bag like that for a
long time.

〈解説〉

- ① (1) 「A, so + B.」で「AなのでB」の意味。
(2) 「A(,) but + B.」で「AだがB」の意味。
(3) 「B + when + A.」か「When + A, B.」
で「AのときB」の意味。(4) 「B + if + A.」
か「If + A, B.」で「AならばB」の意味。
(5) 「B + though + A.」か「Though + A, B.」
で「AだけれどもB」の意味。(6) 「know
that ~」で「~ということを知っている」の意
味。
- ② (1) if や when などの時や条件を表す接続詞に
続く文では、未来のことも現在形で表す。よっ
て、rains となる。(2) 「~だといいなあと思
う」は hope that ~。(3) 時制の一致。that の
文で、that の前の動詞が過去形なら、あとの動
詞も過去形にする。(4) 「A も B も両方とも」
は「both + A + and + B.」。(5) 「~しなさい、
そうしないと…」は「命令文 + , or ~.」(6) 「B
+ as soon as + A.」か「As soon as + A, B.」
で「AするとすぐにB」の意味。
- ③ (1) 「on + 曜日・日付」で「(曜日・日付)に」
の意味。(2) 「in + 年」で「(…年)に」の意味。
(3) in には時間の経過を表して、「~たてば、
~後に」の意味もある。(4) 「for + 期間を表
す語句」で「~の間」の意味。(5) by は「~
までに」と期限を表す表現。till[until]は「~ま
では(ずっと)」の意味。(6) 「have[has] + 過
去分詞 + since ~」で「…からずっと~だ」と
いう継続を表す表現。(7) at the door で「ド
アのところに」の意味。「(あまり広くない場所)
に」という場合、at を用いる。(8) leave for ~
で「~に(向けて)出発する」の意味。(9) 「by
+ 乗り物」で「~で」の意味。(10) one of ~
で「~の中の一つ」の意味。
- ④ (1) 「とても…なので~」は so...that ~で表す

ことができる。(2) when と同じく、before
も時を表す接続詞なので、あとに続く文では未
来のことも現在形にする。よって gets となる。
(3) 「A から B まで」は「from + A + to + B.」。
(4) like は「~のような」の意味。よって「あ
のような」は like that で表せる。「長い間欲し
かった」は、継続の意味を表す現在完了を用い
て表現する。

第16講座 現在完了進行形・原形不定詞・ 仮定法過去

と難しい」は比較級を使って表す。

P.33 〈解答例〉

- ① (1) トムは4時間ずっとテレビを見続けています。(2) スミス先生は生徒たちを立たせました。(3) あなたの家族は私たちにそれをさせないでしょう。(4) 私の姉は私の母が昼食を作るのを手伝うでしょう。(5) もし私があなたなら、そんなことは言わないだろう。(6) 私が今カメラを持っていればなあ。
- ② (1) been snowing since (2) let me use
(3) had, could
- ③ (1) has been, for (2) were not, could
(3) knew
- ④ (1) They have been talking for more than two hours.(.) (2) His mother made him wash his face at once.(.) (3) Don't let her go there alone.(.) (4) What made your parents do such a thing?(?) (5) Who helped you clean the room(?)
- ⑤ (1) How long has your sister been waiting for him? (2) Your father didn't let us go to the movies. (3) If I knew her, I would talk to her. (4) I wish you could solve more difficult questions.

〈解説〉

- ① (1) は現在完了進行形の文、(2)～(4)は原形不定詞が使われた文、(5)、(6)は仮定法過去の文。(5) such a ～「そんな～」の意味。
- ② (1) 「ずっと～し続けている」とあるので現在完了進行形を使う。(2) 「～が～するのを許す」は let - 原形不定詞～で表す。(3) 「(もし)～なら、…できるのに」は If + 主語 + 動詞の過去形～、主語 + could + 動詞の原形…で表す。
- ③ (1) 「10時間前に雨が降り始めて、まだ降っている」→「10時間、雨が降り続けている」(2) 「彼女のお父さんは忙しいので、パーティーに来ることができません」→「彼女のお父さんは忙しければパーティーに来ることができるのに」(3) 「ブラウンさんの電話番号を知らないことを残念に思う」→「ブラウンさんの電話番号を知っていたらなあ」
- ④ (1) 「～以上」は more than ～を使う。(4) 「あなたのご両親はなぜそんなことをしたのですか」→「何があなたのご両親にそんなことをさせたのですか」
- ⑤ (1) 「～を待つ」は wait for ～を使う。(2) 「～が～するのを許す」は let - 原形不定詞～で表す。(3) 「(もし)～なら、…するのに」は If + 主語 + 動詞の過去形～、主語 + would + 動詞の原形…で表す。(4) 「～できたらなあ」は I wish + I + could + 動詞の原形～で表す。「もっ